

部局名	産業活力部	所属名	農業研修センター	所属長名	山本 良一	電 話	450-4645
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3271		事務事業名称	農業研修センター運営事業						短縮コード	経常	3271	臨時	3602		
予算区分	会計	01	一般会計		款	06	農林水産業費		項	01	農業費		目	07	農業センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市農業研修センターの設置及び管理に関する条例・八千代市農業ボランティア養成講座実施要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
当施設は昭和59年4月に農業に関わる各種研修会等の開催や，農家と都市住民の交流促進などを通じて，農業振興を図ることを目的に開設された。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）		05	産業活力都市をめざして								
農家・農業従事者の減少は今後も続くと推測され，それに伴い農家等の施設利用も減少すると考えられる。しかし都市住民の農業や食に対する関心は高く，各種研修会等の参加希望は今後も増加していくものと思われる。					大項目（節）		01	農業								
					中 項 目		01	農業								
					小項目（施策）		02	農業経営体の育成								
							06	市民とふれあう農業の推進								
					細 項 目		03	後継者の育成								
							02	市民と農家との交流								
実施計画の計画事業																
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成22年3月			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	研修センター及び利用者：① 農業従事者，農業関係団体，農業後継者。② 農業に関心を寄せる市民（各種研修会等参加者及び農業ボランティア養成講座受講生等）。③ 利用許可をうけた市民											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ・施設利用申請許可・農業ボランティア養成講座の開催，認証・認証農業ボランティアと受け入れ農家間の調整・各種研修会（地域農産物の加工講習会，地域農産物活用マイスター講座等） ・第4回農業とくらしのシンポジウムの開催。											
	※平成22年度に計画していること： 農業ボランティア養成講座，各種研修会の中では「地域農産物の加工教室」，昨年度より一歩進んだ形の加工技術の高度化を目指して「地域農産物活用マイスター講座」，生産者と消費者の連携によるあり方をさらに考える「八千代市生消連携を進める会」を開催予定。											
意図 （何を狙っているのか）	・農業経営の向上及び農業の担い手育成と，地域資源を活用した生産者と消費者の交流促進による都市農業の振興。											
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外											
区 分					単位	2 0 年度		2 1 年度		2 2 年度		
						実績		計画	実績	計画		
対象指標	指標 1	研修センター利用者数			人	11, 386		11, 000	9, 857	10, 000		
	指標 2	市内の受入れ農家数			戸	13		14	14	15		
	指標 3	農業に関心を寄せる市民（農業ボランティア登録者等）			人	265		305	632	500		
活動指標	指標 1	利用許可数（多目的ホール・和室・洋室会議室等）			件	654		700	611	650		
	指標 2	市民向け教室・講習会の回数			回	43		50	41	40		
	指標 3	農業従事者向け研修・農業ボランティア養成講座の回数			回	130		130	137	140		
成果指標	指標 1	教室・講習会の延べ参加人数			人	510		500	420	450		
	指標 2	農業従事者向け研修等の延べ参加人数			人	1, 024		1, 000	1, 113	1, 000		
	指標 3	農業ボランティア認証書を授与した者の延べ数			人	265		305	299	339		
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード	3271	事務事業名称	農業研修センター運営事業				所属名	農業研修センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業経営の多様化が進む中で、当農業研修センターにおいては時代のニーズに合った研修会等を開催していく。また、都市型農業の身近な生産地として理解を深めてもらうために、消費者と生産者の交流事業等も推進していく。 今後の課題として、近隣に体験農場等が無いため、そういった施設の必要性がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後も、事務事業の目標等に大きな変更はないため、変わらないものと考えられる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・施設設置目的以外の利用が増えており、将来の農業振興につながる運営を検討すべき。 ・多様な各種研修会の開催。 ・農家と都市住民との交流事業の促進。									

所属長コメント	・八千代市農業の担い手育成，農業経営者等への指導，また農業労働力の一翼を担ってもらうための農業ボランティア養成講座及び各種講習会を通じて，都市住民への農業に対する理解を深めるよう事業を推進する。 ・妥当な評価である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									